

岐阜大学環境サークル
G-amet

GIFU UNIVERSITY STUDENTS' ASSOCIATION
FOR THE ENVIRONMENT

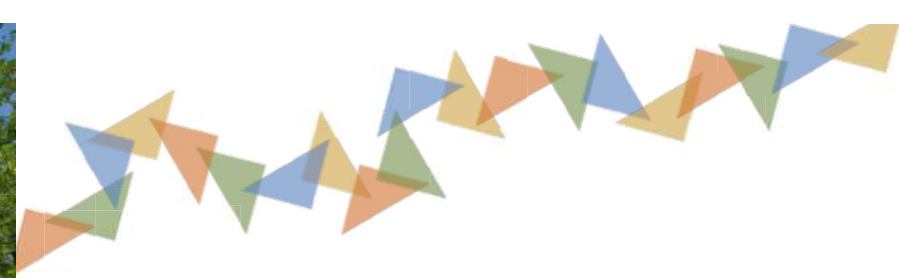
小崎 文太
地域科学部 1年

田中 ひなた
応用生物科学部 1年

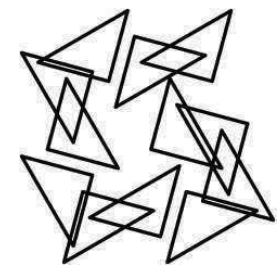
豊川 雛衣
応用生物科学部 2年

中藤 駿
応用生物科学部 4年





2018年9月に創設された岐阜大学環境サークル G-amet（ジャメット）は、活動理念「わたしたちにできることからあたりまえに」のもと、環境問題に関心ある学生が自発的に考えて行動できる場を提供しています。立場や世代、専門分野などあらゆる枠を超えて課題に取り組み、学生の環境意識の向上を目指して、相互に意見交換・情報共有しながら計画的な活動を行っています。



岐阜大学環境サークル
G-amet
 GIFU UNIVERSITY STUDENTS' ASSOCIATION
 FOR THE ENVIRONMENT

活動理念 PHILOSOPHY

わたしたちにできることからあたりまえに

私たちはこの活動理念のもと、環境活動に対して、活発に、そして発展させながら皆さんと一緒に取り組みます。この理念には、大学キャンパスでできること、学生や教職員が参加できることから取り組み、私たち一人ひとりが環境について考えるきっかけをつくりたいという思いが込められています。

SECTION 1



廃棄物・資源循環部門

古本市や資源分別回収を通して、身近なゴミや資源について考える

SECTION 2



緑化・景観管理部門

キャンパスの緑化を通して、利用者が気持ちよく過ごせる空間づくりを目指す

SECTION 3



生物多様性保全部門

岐阜大学の知恵を結集して日本初となる学生主体の自然再生プロジェクトに挑む

SECTION 4



ESD・環境教育部門

SDGsや環境に関するイベントを企画・実施し、教職員や地域住民と共に学び、正しい認識と理解を目指す



活動方針 POLICY

“大学生だからできること”に取り組む

私たちは環境問題の解決や環境配慮の背景に潜む社会的な思惑や利害を考え、慎重に行動する必要があります。学生はそうした思惑や利害に囚われず行動できる存在であるからこそ、従来の環境活動に疑問を投げかけ、多様な意見に耳を傾けながら、正しい理解と認識を持って活動に取り組むことを目指します。

PDCAサイクルを意識する

環境問題は、非常に複雑であるため、その影響や原因をすべて明らかにすることは困難です。その「不確実性」に対して、私たちはPDCAサイクルを意識して、目的・目標を持って継続的な活動を、時には科学的知見によってその効果を検証しながら進めていきます。また、多様な主体が協働することで個人ではできなかったことを実現できる団体を目指します。

すべての人の環境意識の向上

環境問題への正しい理解・認識を含む環境意識の向上は大学キャンパスから地域へと波及していくことが理想的です。まずは、教職員も含めた大学全体の環境意識の向上を目指します。さらに、学生一人ひとりが環境に配慮した行動を当たり前に行えるようになり、そうした高い環境意識と正しい理解・認識をもった学生を社会に輩出することを目指します。

すべての人にオープンな取り組みを

私たちの活動は透明性を持って、学内や地域にオープンな取り組みとして進めます。私たちの考えや対策手法が適切なものであるかどうか、幅広く意見を求め活動に反映させていきます。また、立場や世代、専門分野を超えて環境問題に取り組み、多様な主体が議論する空間の提供を目的として学生だけでなく教職員や地域住民など対象としたイベントを展開します。





SECTION
1

学生団体おりがみ×柳ヶ瀬商店街×G-amet キャンドルナイトリレーin岐阜



「環境問題を身近に感じる空間を創る」全国10会場のグランドスタートとして商店街と共同開催

- ◆ 店舗（商店街）や大学で集めた廃油や空き容器を材料にしたキャンドル製作（＝資源の有効活用）
- ◆ 「日常生活の中で私たちに何ができるか」をテーマにしたディスカッションや学生個人の環境配慮の取り組みを紹介

地域社会で環境問題について考える

※本イベントは、「学生団体おりがみ」が主催の「2020キャンドルナイトリレー（東京オリンピック・パラリンピック公認プログラム）」の岐阜会場として実施した。全国10会場のうち、対面かつ地域住民も参加して開催できたのは岐阜会場のみ。

<https://www.candle2020.com/gifu>



廃棄物・資源循環部門

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任



ポイ捨てのない美しく清潔なキャンパスへ

書籍の無料譲渡により学習の充実

商店街の活性化

海へのゴミの流出防止

ごみ焼却時に発生するCO₂削減

資源の有効活用
弁当容器のリサイクル率向上

地域社会や他団体との連携

17 パートナーシップで目標を達成しよう

16 平和と公正をすべての人に

15 陸の豊かさを守ろう

14 海の豊かさを守ろう

13 気候変動に具体的な対策を



SECTION 2 緑化研究会three trees × G-amet 緑化活動 & ハーバリウムづくり



キャンパス利用者が気持ちよく過ごせる空間づくりを目指す

- ◆ キャンパスの緑化（プランターへの植栽）を通してキャンパスの利用者が気持ちよく過ごせる空間づくりを目指す
- ◆ 楽しみながら環境問題に関心を持ってもらうことを目的としたワークショップ（ハーバリウムづくり）を開催
- ◆ ワークショップでは学生や教職員に花植え、花摘み、ハーバリウムづくりを体験してもらった



緑化・景観管理部門

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任



過ごしやすいキャンパスづくり

緑化に対する学びの提供

学生と教職員の交流
他団体との連携

生物多様性への貢献

光合成によるCO₂減少
空きビンの有効活用

景観整備

17 パートナーシップで目標を達成しよう

16 平和と公正をすべての人に

14 海の豊かさを守ろう

13 気候変動に具体的な対策を